

令和7年度全国学力・学習状況調査 様似町内の状況及び今後の改善方策

小学校数:1校、児童数:20人 中学校数:1校、生徒数:18人

○ 教科に関する調査の状況

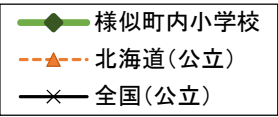
【レーダーチャート】

- ・教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)
- ・中学校理科の結果は、IRTスコアで表されるため、レーダーチャートに表示していません

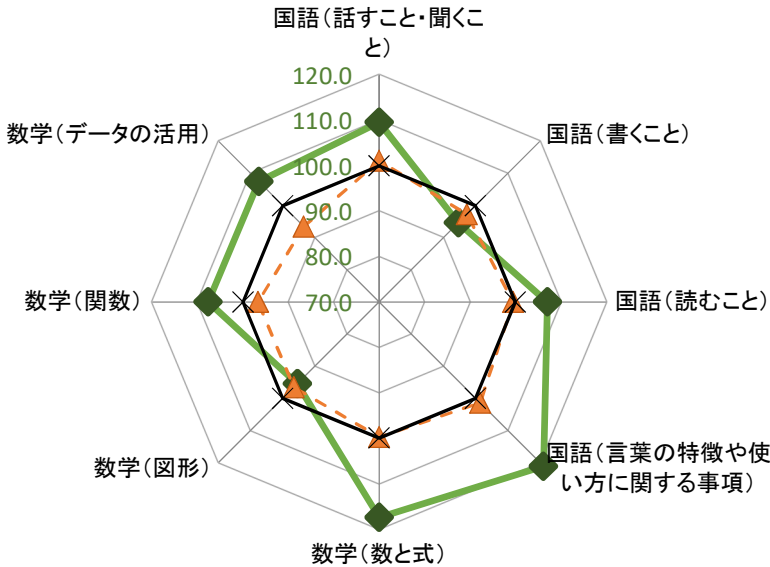
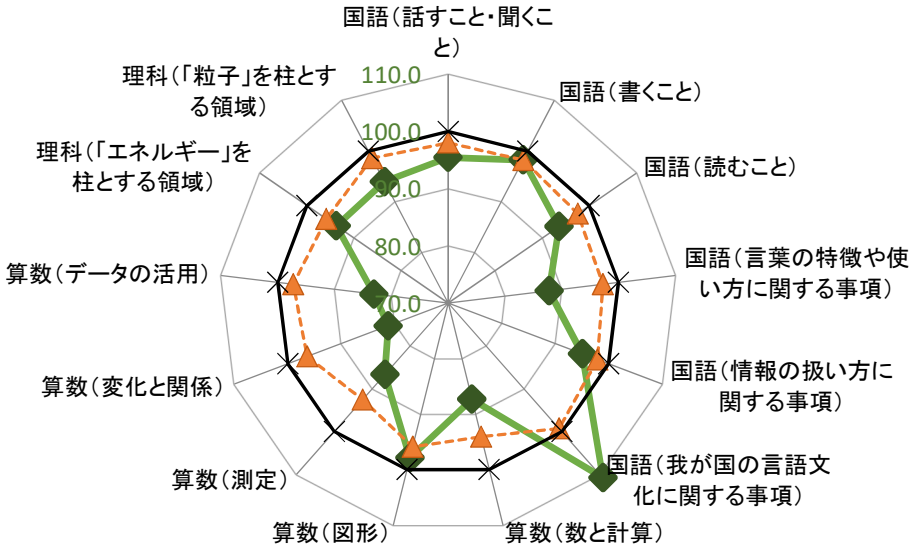
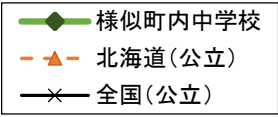
【平均正答率・平均IRTスコア】 ※中学校理科は平均IRTスコア

	小学校			中学校		
	国語	算数	理科	国語	数学	理科
様似町	64	52	52	57	52	527
北海道(公立)	65.4	55.2	56.3	54.0	46.7	505
全国(公立)	66.8	58	57.1	54.3	48.3	503

小学校



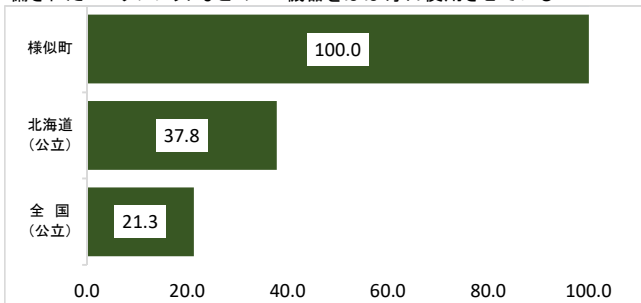
中学校



○ 質問調査の状況

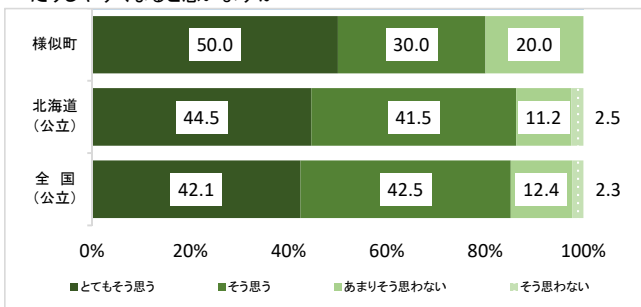
小学校 ＜学校質問＞

児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面では、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用させている



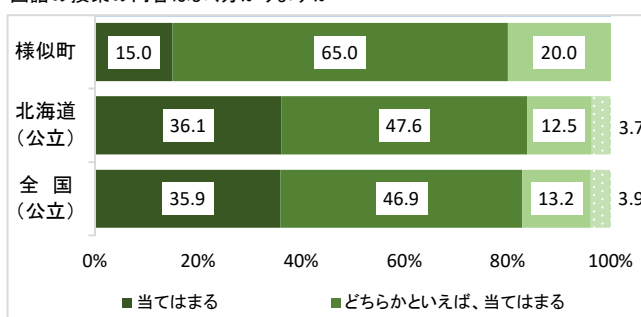
小学校 ＜児童質問＞

PC・タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると思いますか



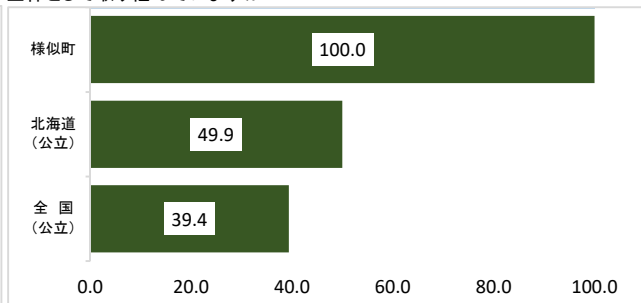
小学校 ＜児童生徒質問＞

国語の授業の内容はよく分かりますか



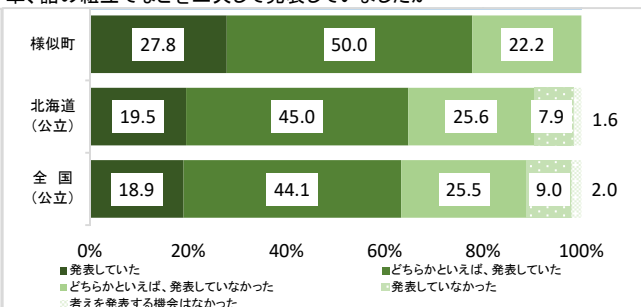
中学校 ＜学校質問＞

言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて、学校全体として取り組んでいますか

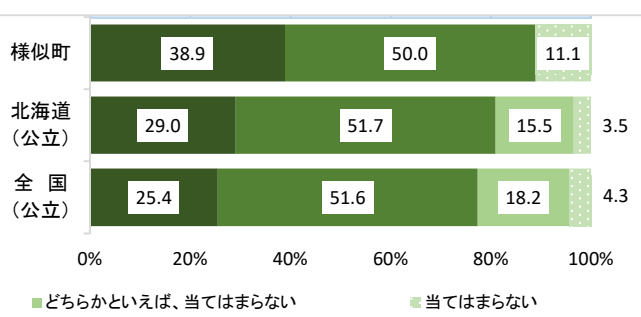


中学校 ＜生徒質問＞

自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか



中学校



○ 調査結果の分析

- ・ 小学校において、児童が自分の考えをまとめ、発表・表現する場面で、児童一人一人に配備されたPC・タブレットなどのICT機器をほぼ毎日使用したことにより、PC・タブレットなどのICT機器を活用することで、友達と考えを共有したり比べたりしやすくなると思うと回答した児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。
- ・ 中学校において、言語活動について、国語科を要しつつ、各教科等の特質に応じて学校全体として取り組んだことにより、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していたと回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。
- ・ 小学校国語の平均正答率が全国及び全道を下回っている状況は、国語の授業の内容はよく分かると回答した児童の割合が全国及び全道を下回っていることが、要因の一つとして考えられる。

○ 今後の改善方策

- ・ 学校種の垣根を越えた「小中一貫相互授業」による教員の指導体制の構築及び小・中合同研修による身につけさせる資質・能力を明確にした様小中スタイルの授業づくりの推進
- ・ 民間学習塾と連携した既習事項の定着及び自発的な学習の習慣化に向けた取組の推進
- ・ 学校・家庭・地域が連携、協働しながら安心して学べる学習環境づくりに向けたコミュニティ・スクールの推進